



機構及び事務分掌

平成 24 年 6 月 4 日

文化観光局

目 次

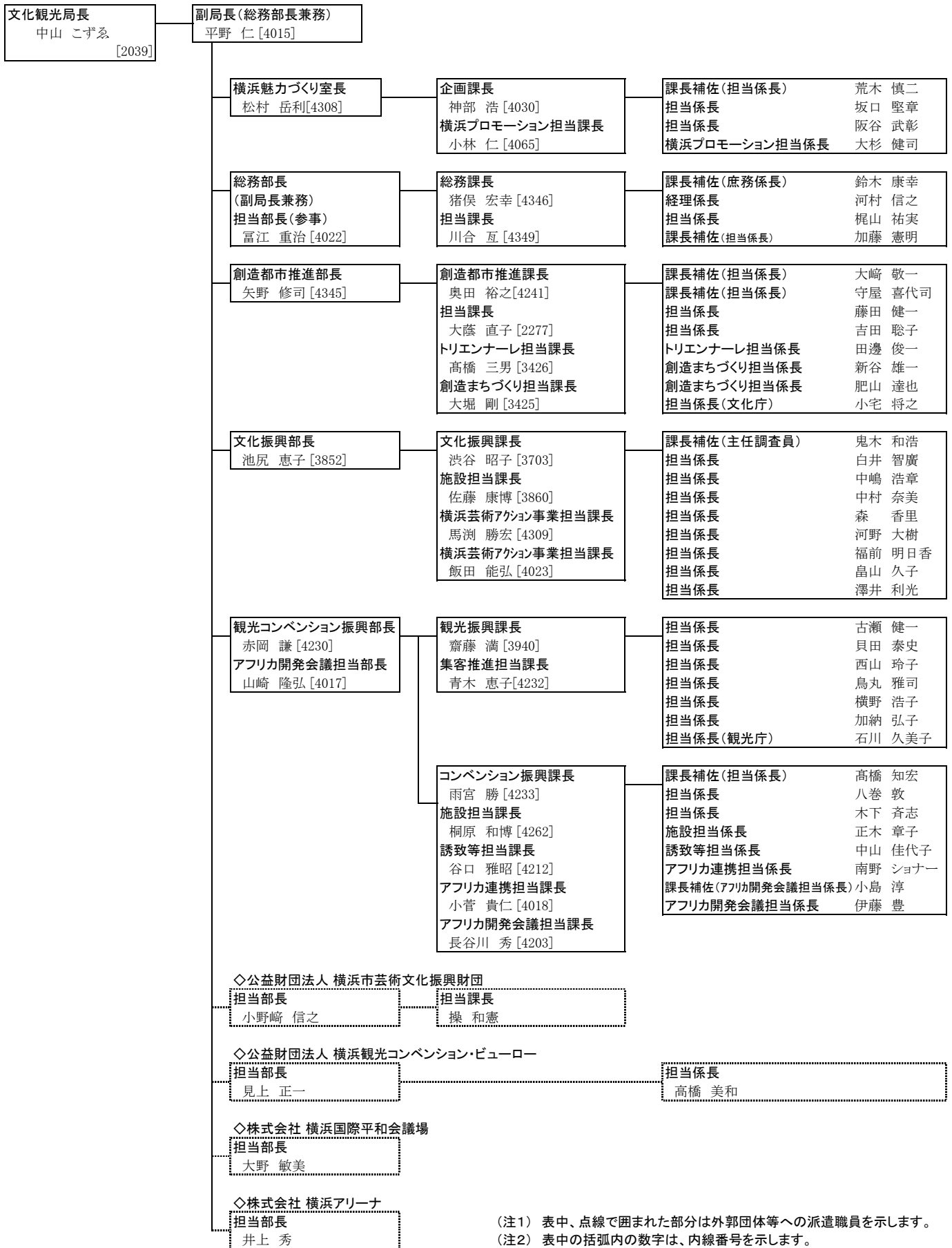
1 機構図

文化観光局 P 1

2 事務分掌

文化観光局 P 2

1 文化観光局機構図



(注1) 表中、点線で囲まれた部分は外郭団体等への派遣職員を示します。
(注2) 表中の括弧内の数字は、内線番号を示します。

2 文化観光局事務分掌

横浜魅力づくり室

企画課

- 1 横浜の魅力向上に係る総合的な企画、調整及び調査研究に関すること。
- 2 局の重要施策の企画及び総合調整に関すること。
- 3 シティプロモーションに関すること。

総務部

総務課

- 1 局内の人事、文書、予算及び決算に関すること。
- 2 局内の事務事業の連絡調整に関すること。
- 3 局所管の外郭団体の総合調整に関すること。
- 4 局の危機管理に関すること。
- 5 財団法人横浜開港150周年協会に関すること。
- 6 開港 150 周年記念事業に関すること。
- 7 他の室および部の主管に属しないこと。

創造都市推進部

創造都市推進課

- 1 創造都市の形成に係る総合的な企画、調整及び事業等の実施に関すること。
- 2 創造都市の形成に係る拠点の整備及び運営管理並びにこれらに係る企画、調査及び調整に関すること。
- 3 創造都市の形成に係るまちづくりに関すること。

文化振興部

文化振興課

- 1 文化施策の総合的な企画及び事業の実施に関すること。
- 2 文化芸術活動の総合的な支援に関すること。
- 3 文化施設の整備及び運営管理並びにこれらに係る企画、調査及び調整に関すること。
- 4 区役所の文化振興支援に関すること。
- 5 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団に関すること。
- 6 文化基金に関すること。
- 7 その他文化振興に関すること。

観光コンベンション振興部

観光振興課

- 1 観光交流の推進及び調整に関すること。
- 2 観光関係の団体及び施設に関すること。
- 3 国内外からの観光客の集客に係る総合的な企画、調整及び事業の実施に関すること。
- 4 財団法人三溪園保勝会及び公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューローに関すること。
- 5 部内他の課の主管に属しないこと。

コンベンション振興課

- 1 大型国際コンベンション並びにその他のコンベンション等の誘致及び開催支援に関すること。
- 2 大規模集客イベントの支援に関すること。
- 3 コンベンション関係の団体及び施設に関すること。
- 4 株式会社横浜国際平和会議場及び株式会社横浜アリーナに関すること。



平成 2 4 年度

事 業 概 要

文化観光局

目 次

ページ

I 平成24年度文化観光局予算について	3
<<予算額の概要>>	
<<予算の視点>>	
1 プロモーションカアップ	5
2 横浜の魅力アップ	6
「文化・芸術」	6
(1) 横浜芸術アクション事業	
(2) パフォーミングアーツ連携事業	
(3) クラシック・ヨコハマ推進事業	
(4) 芸術文化教育プログラム推進事業	
(5) 文化芸術による地域づくり事業	
(6) 文化施設整備事業	
◆コラム①◆ 「市域全体での魅力の発信・発掘」	9
「創造都市・まちづくり」	10
(1) スマートイルミネーション事業	
(2) ナショナルアートパーク構想推進事業	
(3) 創造界限形成事業	
(4) アーツコミッション事業	
(5) 地域再生まちづくり事業	
(6) 創造都市地域連携事業	
(7) 横浜創造都市スクール事業	
「観光MICE」	12
(1) 国内誘客事業	
(2) 横浜観光プロモーション認定事業	
(3) 観光資源魅力アップ事業	
(4) 海外集客プロモーション事業	
(5) 中国・韓国市場向け重点プロモーション事業	
(6) コンベンション誘致・開催支援事業	
(7) MICE機能強化等事業	
(8) 集客イベント支援事業	
(9) アフリカ開発会議横浜開催推進事業	

◆コラム②◆ 「横浜市中小企業振興基本条例関連事業」 14

3 マーケティングカアップ 14
 (1) シティプロモーション事業【再掲】
 (2) 調査分析事業
 (3) 観光動向に関する調査
 (4) M I C E機能強化等事業【再掲】

II 平成24年度文化観光局予算総括表 16

III 予算科目別内訳

1 文化観光総務費 17
2 創造都市推進費 18
3 文化振興費 20
4 観光・コンベンション振興費 22

この冊子で「緊急雇用創出事業」とは、「神奈川県緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用した事業のことです。

I 平成24年度 文化観光局予算について

予算額の概要

平成24年度の文化観光局の一般会計の予算額は、90億2,940万円、対前年度9億1,257万円、11.2%の増となっています。

(単位:万円)

区 分	平成24年度予算額	平成23年度予算額	増 減
一般会計	902,940	811,683	91,257 (11.2%増)

(内訳は16ページの文化観光局予算総括表を御覧ください。)

予算の視点

1. 中期4か年計画の着実な推進

文化観光局は、本市の成長戦略である「観光・創造都市戦略」を担い、文化芸術・観光 MICE 分野のさらなる充実を図る使命があります。厳しい財政状況の中にあっても、選択と集中を徹底し、局運営方針の基本目標“発信しよう 横浜の魅力”を意識しながら、中期4か年計画に掲げた目標を達成するべく予算編成を行いました。

2. 市民・事業者・行政が連携した賑わいのまち、千客万来のまちづくり

市民・事業者・行政が連携した賑わいのまち、千客万来のまちづくりをすすめ、経済の活性化を図ることを事業展開における基本的な考え方とし、文化芸術・観光 MICE による都市としての魅力・機能向上を図ります。

24年度は、新たな横浜のシンボリック事業として、「横浜芸術アクション事業 Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012」を実施し、質の高い文化・芸術を発信するとともに、「スマートイルミネーション事業」や「OPEN YOKOHAMA2012」等、様々な事業との連携・相乗効果を発揮し、文化芸術によるまちの賑わい、都市の活力を創出します。

また、観光都市・国際コンベンション都市としての魅力、機能をより一層高めるため、誘客事業やMICE誘致・開催支援の充実を図ります。

具体的には、国内外からのさらなる誘客強化に向け、「横浜観光プロモーション認定事業」や「ニューツーリズム振興」、「集客イベント支援事業」などを拡充するほか、中国・韓国を重点市場と位置づけ、観光需要の喚起、横浜の知名度を高める取組を強化します。

さらに、MICE誘致・開催支援の充実に向け、特に中・大型国際コンベンションを軸とした誘致を強化するとともに、将来を見据えた競争力を高めるため、MICE機能強化に向けた手法の調査・検討を進めます。

このような取組や事業展開を戦略的、効率的にプロモーションし、局が一丸となって、横浜の新たな魅力を生み出し国内外に発信します。

※MICE（マイス）とは、Meeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行）、Convention（国際機関・団体・学会等が主催する総会、学術会議等）、Event/Exhibition（イベント・展示会・見本市）の頭文字をとった言葉。

3. 市域全体での魅力の発信・発掘

コラム①

(9 ページ参照)

局の理念でもある、「文化のかおる活力ある都市横浜、人が集い交流する賑わいのある都市横浜」の実現のため、市域全体「オール横浜」で施策に取り組みます。

「文化芸術による地域づくり事業」の拡充や、四季に応じた観光キャンペーンの展開、区と連携した「旧東海道の歴史を活かした魅力づくり」の実施、フィルムコミッション事業などにおいて、地域の魅力や文化・観光資源を横浜の魅力として積極的に発信・発掘していきます。

文化観光局の事業展開概念

文化観光局は3つのアップ！！

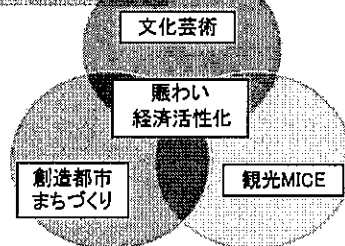
- ◆ プロモーションカ アップ
- ◆ 横浜の魅力 アップ
- ◆ マーケティングカ アップ



3つのアップを連動させ、横浜の魅力を発信し、「ヒト・モノ・情報」など新たな資源を呼び込み「千客万来のまち」、「経済の活性化」につなげていきます。

プロモーションカ アップ

横浜の魅力アップ



マーケティングカ アップ (調査・分析)

◆ 経済の活性化と市内中小企業の振興 ◆

コラム②

(14 ページ参照)

横浜市中心小企業振興基本条例に基づき、市内中小企業の振興に資する施策を実施します。

MICE全般の開催支援として、市内中小企業と連携して主催者への現物支給を実施する取組や、会員の多くが中小企業であるヨコハマ・グッズ『横濱 001』の販路拡大等の支援、アーティスト・クリエイターの事務所等開設支援など、施策の推進にあたり中小企業の振興と市内経済の発展という好循環を生み出していきます。

主な事業

1

プロモーションカ アップ

横浜の魅力を、市内だけでなく市外や国外へ十分に周知し、認知度や来訪率を高めるため、戦略的・効果的なプロモーションを展開します。

統一的なプロモーションを行い、発信することで、それぞれの事業の目的を達成するだけでなく、千客万来のまち、選ばれるまち、さらには横浜ブランドの確立につなげていきます。

(1) シティプロモーション事業 **新規** 5,713 万円 p.17

文化芸術・観光分野を中心とした全庁的取組として、表現や方法に統一性と一貫性のあるプロモーションを展開します。調査分析に基づき、幅広く様々な媒体を戦略的・効果的に組み合わせ、特に首都圏での情報発信力の強化と、「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012」などと連携したプロモーションを進めていきます。

◆ 文化・観光ラジオプロモーション事業 1,796 万円 **【緊急雇用創出事業】**

横浜の観光イベント等に関する番組（コーナー）を制作し、文化・観光に関する情報を横浜市民や首都圏に発信します。

◆ シティプロモーションツール開発事業 1,553 万円 **【緊急雇用創出事業】**

横浜の観光地や飲食店、宿泊施設などの魅力ある観光資源を今まで以上に印象的に伝えるための誘客情報をウェブやイベント等で広く発信します。

(2) 魅力創発事業 **新規** 4,065 万円 p.17

都心部や郊外部の魅力資源について、区局、市民団体、企業等との協働により、横浜の魅力をさらに高める取組を進めます。24年度は、地域資源を活用した区局連携事業として「旧東海道の歴史を活かした魅力づくり」、「上郷森の家・自然観察の森を拠点とした魅力づくり」などを実施します。

(3) 中国・韓国市場向け重点プロモーション事業 **拡充** p.23

5,563 万円（前年度 3,900 万円）

中国での観光セミナーの開催や、「横浜友好観光大使」に任命している中国の有名俳優による情報発信を引き続き行います。

また、新たに韓国を重点市場と位置づけ、韓国の著名人を「横浜友好観光大使」に任命するなど、現地メディアによる横浜の情報発信を強化します。

横浜の強みである「文化・芸術」「創造都市・まちづくり」「観光MICE」それぞれの取組を深化させ、相乗効果を発揮します。

24年度は特に「横浜芸術アクション事業」を核として様々な事業を連携させ、横浜の魅力資源を世界に通用する「横浜ならではのオンリー1、ナンバー1」に磨き上げ、まちの賑わいを創出し、経済の活性化につなげます。

文化・芸術

(1) 横浜芸術アクション事業

拡充

3億9,207万円(前年度 2,000万円)

p. 20

文化芸術による賑わいの定着、経済の活性化を図るために、23年度の現代美術の国際展「横浜トリエンナーレ」に引き続き、「横浜芸術アクション事業」として24年度は「ダンス」、25年度は「音楽」のフェスティバルを実施します。



ア ダンスのフェスティバル (3億3,207万円)

※うち1億1,207万円は緊急雇用創出事業の経費

名称: Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012

期間: 平成24年7月20日(金)～10月6日(土)

主催: 横浜アーツフェスティバル実行委員会

主要会場: みなとみらい21地区、関内及び山下公園周辺ほか

総プログラム数: 112事業(平成24年5月末現在)

主な内容

(ア) 芸術性の高いプログラム 35事業

バレエ、コンテンポラリーダンスなどのトップアーティストによる芸術性・エンターテインメント性の高いさまざまなステージ

【主な事業】

<横浜ベイサイドバレエ>

開催日: 7月20日(金)、21日(土)

会場: 赤レンガオープンステージ(野外特設会場)

主催: 横浜アーツフェスティバル実行委員会/公益財団法人日本舞台芸術振興会

<オールニッポンバレエガラ2012～東日本大震災復興支援チャリティ～>

開催日: 8月14日(火)

会場: 神奈川県民ホール 大ホール

主催: オールニッポンバレエガラコンサート2012実行委員会

<DANSE/TANZ ダンス/タンツ>

開催日: 7月14日(土)～15日(日)

会場: KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ

主催: 横浜日仏学院/東京ドイツ文化センター(ゲーテ・インスティテュート)

(イ) 市民参加プログラム 43 事業

日ごろダンスを楽しんでいる多くの方が主体的に参加できる発表会など

【主な事業】

<ハマこい踊り炎舞 2012>

開催日：7月21日(土)

会場：パシフィコ横浜円形広場など

主催：社団法人 横浜青年会議所/横浜アーツフェスティバル実行委員会

<踊って・観て・楽しむダンスフェスティバル>

開催日：7月24日(火)

会場：赤レンガオープンステージ(野外特設会場)

主催：横浜市ダンススポーツ連盟

<Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012 市民ダンスフェスティバル>

開催日：9月15日(土)～16日(日)

会場：関内ホール 大ホール

主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会

(ウ) 次世代育成プログラム 7 事業

学校と連携した子どもたちとプロダンサーの交流事業、発表会など

【主な事業】

<目指せ! はまっ子スポーツウェーブ横浜市立小学校体育実技発表会>

開催日：(ワークショップ)4月～11月 (発表会)12月1日(土)

会場：(ワークショップ)市内小学校 (発表会)横浜市文化体育館

主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会

<東日本大震災復興支援・交流事業 中学生 Rising Sun Project～夢の課外授業スペシャル～>

開催日：(ワークショップ)6～8月 (発表会)8月10日(金)

会場：(ワークショップ)市内中学校 (発表会)横浜・八景島シーパラダイス

主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会/二十一世紀倶楽部

<日本高校ダンス部選手権 DANCE STADIUM>

開催日：7月28日(土)横浜市地区予選、8月20日(月)全国大会

会場：横浜市立みなと総合高等学校、パシフィコ横浜国立大ホール

主催：産経新聞社

<HAMASAI! (大学生ストリートダンスパフォーマンス)>

開催日：8月8日(水)

会場：赤レンガ倉庫1号館2F、3F、広場

主催：DANCER PARTY PROJECT

(エ) 連携・観光プログラム 27 事業

市内ホテルや商業施設、既存イベント等と連携した企画など

【主な事業】

<ダンス・ダンス・ダンス プログラム(ショートフィルム上映会)>

開催日：7月16日(月)～8月15日(水)

会場・主催：アリア ショートショートシアター

<ホテルニューグランド ダンスパーティ 2012>

開催日：5月23日(水)、10月24日(水)

会場・主催：ホテルニューグランド

<Summer Disco Night 2012>

開催日：8月10日(金)

会場・主催：横浜ベイクォーターホテル&クルーズ

<飛鳥II HULA ON ASUKA II(船上クルーズ)>

開催日：8月20日(月)～24日(金)

主催：郵船クルーズ株式会社

◆ ダンスフェスティバルPR・会場運営事業 1億1,207万円 【緊急雇用創出事業】

パフォーマンスによるダンスフェスティバルのPRや野外会場の管理、運営等を行います。

イ 音楽のフェスティバル(6,000万円)

平成25年度の音楽のフェスティバルの開催に向けて、24年度はプレ事業を実施

<世界トップクラスのオーケストラシリーズ>

時期：6月～3月

会場：みなとみらいホール

<歌劇「蝶々夫人」>

開催日：6月30日(土)

会場：同上

(2) パフォーミングアーツ連携事業 **新規**

2,900 万円 (前年度 1,200 万円) p. 19

ダンスパフォーマンスによるまちの賑わいづくりにつながる活動に対して支援を行ない
ます。また、パフォーミングアーツの分野において、質・知名度ともに評価が高い、
国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAMiY) の活動を支援し、市民が最先端の舞
台芸術に接する取組を推進するとともに、舞台芸術を支える人材の集積・育成や拠点施
設・NPO 等との連携を進めます。

(3) クラシック・ヨコハマ推進事業 1,100 万円 (前年度 1,100 万円) p. 20

国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、
地域でのサロンコンサート等による音楽祭を開催します。

また、世界的演奏家による国際音楽セミナーを開催し、成果を発表するコンサート等
を行います。

(4) 芸術文化教育プログラム推進事業

1,750 万円 (前年度 1,750 万円) p. 20

次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力を育成するため、学校に
おいて、アーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを、NPO、文化施
設等とのネットワークにより実施します。

(5) 文化芸術による地域づくり事業 **拡充**

1,000 万円 (前年度 510 万円) p. 20

市民やNPO団体等が主体となって行う、市内各地の地域資源を活用した文化芸術活動
を公募し、支援します。

(6) 文化施設整備事業 27 億 6,197 万円 (前年度 10 億 864 万円) p. 21

文化活動の身近な拠点となる文化施設を各区の文化特性等に応じて整備します。

- ・ 緑区民文化センター
 - ・ 戸塚区民文化センター
 - ⇒ 24 年度末しゅん工予定
 - ・ 鶴見区民文化センター
 - ⇒ 22 年度しゅん工 (23 年度から 25 年度に土地費相当額の計上)
- 17 億 5,864 万円 (前年度 : 435 万円)
- 10 億 333 万円 (前年度 : 10 億 429 万円)

◆コラム①◆ 市域全体での魅力の発信・発掘

地域の文化、観光資源を活用したプロモーション、ニューツーリズムの振興や、身近な文化施設の運営・整備、地域の文化芸術活動の支援等を通じて、市民生活の向上とコミュニティの活性化を図るとともに、地域の魅力や文化・観光資源を横浜の魅力として積極的に発信・発掘していきます。

(主な事業と予算額)

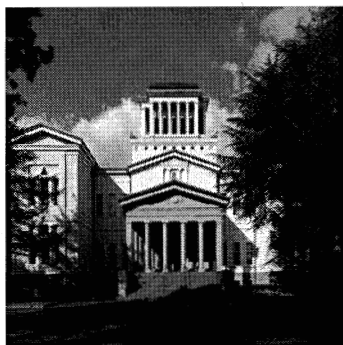
・ 魅力創発事業	4,065 万円
・ クラシック・ヨコハマ推進事業	1,100 万円
・ 芸術文化教育プログラム推進事業	1,750 万円
・ 文化芸術による地域づくり事業	1,000 万円
・ 観光資源魅力アップ事業	1,300 万円
・ フィルムコミッション事業	1,600 万円
・ 文化施設運営事業	25 億 663 万円
・ 文化施設整備事業	27 億 6,197 万円



【文化芸術による地域づくり事業】
「金沢文庫芸術祭」サンセットパレード(H23 実施)



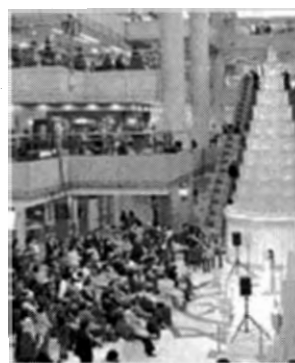
【文化芸術による地域づくり事業】
「都筑アートプロジェクト2011」(H23 実施)



【文化施設運営事業】
「大倉山記念館 (港北区)」



© 2011 高橋千鶴・佐山哲郎・GNDHDDT
【観光資源魅力アップ事業】
「横浜を舞台とした映画とのタイアップ」



【クラシック・ヨコハマ推進事業】
「ランドマークプラザでのコンサート」



【芸術文化教育プログラム推進事業】
「学校でのリズム体験」

創造都市・まちづくり

(1) スマートイルミネーション事業 **新規** 1,200 万円 p. 19

冬のイルミネーションシーズンにあわせ、公共空間を中心とした都心臨海部の夜景を省電力技術とアートの力で演出し、都市としての魅力アップを図ります。また、既存のライトアップイベント等と協働し、まちの賑わいを創出するとともに、地球温暖化対策の啓発を行います。

スマートイルミネーション会場設営運営事業 3,998 万円 【緊急雇用創出事業】

スマートイルミネーション事業を効果的に実施するために、アートプログラムの制作、事業広報・PR、イベント警備・案内、会場設営、運営業務等を行います。

(2) ナショナルアートパーク構想推進事業

6,243 万円 (前年度 7,570 万円) p. 18

象の鼻パーク内の「象の鼻テラス」をカフェ併設の文化観光交流拠点として運営するとともに、質の高いアート展示、パフォーマンス、文化イベント等に活用します。

(3) 創造界限形成事業 1 億 9,464 万円 (前年度 2 億 2,877 万円) p. 18

歴史的建造物や倉庫等、都心部の地域資源を有効活用した創造界限拠点施設として、ヨコハマ創造都市センター (旧第一銀行横浜支店)、BankART Studio NYK (日本郵船横浜海岸通倉庫)、急な坂スタジオ (旧老松会館)、新港ピアの運営・管理を行い、創造的産業の集積・創造界限としての発信性を高め、地域の活性化を図ります。

(4) アーツコミッション事業 7,125 万円 (前年度 8,797 万円) p. 18

アーティスト・クリエイター、NPO、市民、企業、学校などの創造活動の担い手が活動しやすい環境づくりのため、ワンストップ相談窓口を置き、活動に関する相談・支援・情報提供やマッチング、助成などを総合的に行います。

(5) 地域再生まちづくり事業 1 億 717 万円 (前年度 1 億 1,372 万円) p. 18

違法な小規模飲食店が多数立地していた初黄・日ノ出町地区において、引き続き、地元・警察・行政等が一体となって、文化芸術の力を生かした都市の再生を進めます。

京浜急行高架下や地区内の空き店舗等を創造活動の場として活用を進めるとともに、黄金町バザールを実施するなど、地区全体のまちづくりを促進します。

(6) 創造都市地域連携事業 4,566 万円 (前年度 6,300 万円) p.19

横浜独自の歴史・景観・食・文化芸術などの多彩な魅力資源をつなぐキャンペーン「OPEN YOKOHAMA 2012」の開催や「横濱 JAZZ PROMENADE」の開催支援など、市民活動の盛り上げや、横浜の新たな魅力創造・発信、賑わい創出を進めます。

オープンヨコハマ インフォメーションデスク事業 3,251 万円 【緊急雇用創出事業】

『OPEN YOKOHAMA 2012』において、キャンペーンエリア内にインフォメーションデスクを設置し、横浜のまちを歩いて楽しんでいただくための情報案内、イベント・ツアー情報の提供などを行います。

オープンヨコハマ 広報支援事業 1,650 万円 【緊急雇用創出事業】

都心部で行なわれる様々なイベント情報を取材・収集し、ウェブサイトへの情報掲載、ブログ、twitter 等による広報発信・PR 活動を行うことにより、来訪者への情報提供の充実を図ります。

(7) 横浜創造都市スクール事業 2,898 万円 【緊急雇用創出事業】 p.19

市内大学と連携し、ヨコハマ創造都市センター（旧第一銀行）を活動拠点として、アートによるまちづくり等をテーマとしたカリキュラムや区内・関外エリアの調査研究、ワークショップ、研究成果の発表等を行います。



【スマートイルミネーション事業】
「イベント ひかりの実（山下公園）」



【ナショナルアートパーク構想推進事業（象の鼻パーク）】



【創造界隈形成事業（ヨコハマ創造都市センター）】



【地域再生まちづくり事業】
「黄金町バザール（街歩きツアー）」

観光 MICE

(1) 国内誘客事業 5,623 万円 (前年度 6,210 万円) p. 22

国内からの観光客の増加に向け、旅行会社・メディア向けのセールスや、インターネットによる消費者向けPRを行います。

平日の団体宿泊客である修学旅行を重点ターゲット、横浜への交通アクセスが向上する地方を重点エリアとし、近隣都市や観光事業者と連携した効果的なセールスを行います。

(2) 横浜観光プロモーション認定事業 **拡充** 2,700 万円 (前年度 2,100 万円) p. 22

民間事業者により企画・実施される、横浜を対象とした旅行商品の造成や、国内外へ向けた横浜の魅力発信など、横浜の集客力・ブランド力向上につながる事業を外部審査会で認定し、事業費の一部助成や広報などの支援を行います。

(3) 観光資源魅力アップ事業 **拡充** 1,300 万円 (前年度 600 万円) p. 22

横浜の様々な魅力や資源を、新たな観光資源として掘り起こし、民間事業者等との連携による「横浜ならではのニューツーリズム」の振興を図ります。

横浜が舞台の映像作品を活かしたフィルムツーリズムや、都心部のまち並みや夜景、郊外部の自然など、四季に応じた観光キャンペーン等を展開します。

(4) 海外集客プロモーション事業 5,950 万円 (前年度 5,889 万円) p. 23

観光庁の「ビジット・ジャパン地方連携事業」を活用し、企業や他の自治体との広域連携によりアジア6地域(中国、韓国、台湾など)を対象として、消費者・旅行会社向けのプロモーションを実施します。

さらに、現地での訪問セールス、旅行会社へのツアー造成支援、企業との連携による費用対効果の高いプロモーション、インターネットによる情報発信などにより横浜への集客を促進します。

(5) 中国・韓国市場向け重点プロモーション事業 **【再掲】** 5,563 万円 (前年度 3,900 万円) p. 23

中国での観光セミナーの開催や、「横浜友好観光大使」に任命している中国の有名俳優による情報発信を引き続き行います。

また、新たに韓国を重点市場と位置づけ、韓国の著名人を「横浜友好観光大使」に任命するなど、現地メディアによる横浜の情報発信を強化します。

(6) コンベンション誘致・開催支援事業

拡充

p. 23

1億2,088万円(前年度1億615万円)

大型国際コンベンションの誘致・助成制度の充実、MICE全般への支援制度の創設など、コンベンション誘致・開催支援とアフターコンベンションの促進を図ります。

(7) MICE機能強化等事業

拡充

2,390万円(前年度1,330万円) p. 23

中長期MICE戦略の検討や、みなとみらい21地区内でMICE施設拡充をする際の事業手法の検討など、MICE機能強化のための基本構想の策定を行います。

また、人材育成を目的とした、MICEオープンカレッジを昨年に引き続き開講します。

(8) 集客イベント支援事業

拡充

5,220万円(前年度4,680万円) p. 23

「横浜らしい・横浜ならではの」の大規模集客イベントに対して、広報協力、後援等名義使用許可、関係機関・部署への働きかけなど、イベント開催に向けた支援を実施します。

(9) アフリカ開発会議横浜開催推進事業

新規

9,000万円 p. 23

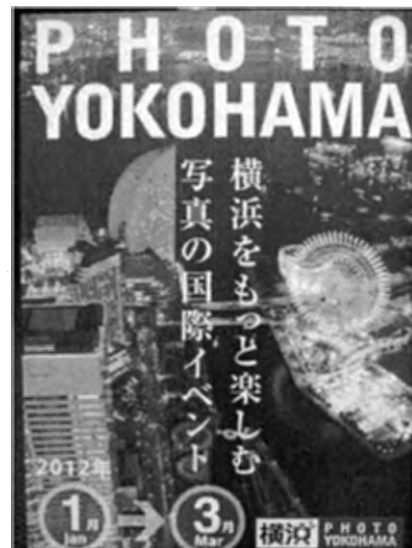
第5回アフリカ開発会議の横浜開催に向け、県や関係団体等と連携し、会議が円滑に開催されるよう支援します。また、前回会議開催を契機に継続してきた市民とアフリカとの交流や理解を促す取組を進めます。

◆開催日程：平成25年6月1日～3日



【第4回 アフリカ開発会議 (2008年)】

(提供：外務省)



【集客イベント支援事業】

「フォト・ヨコハマ2012」

◆コラム②◆ 横浜市中企業振興基本条例関連事業

3事業 3,378万円

- ・ コンベンション誘致・開催支援事業（うちコンベンション開催支援） 2,350万円
⇒ コンベンションをはじめとしたMICE全般の開催支援として、市内中小企業と連携して主催者への現物支給（看板、横断幕、アトラクション等）を実施します。また、市内のMICE関連事業者との協働により、MICE参加者の受入環境の向上を図ります。
- ・ ヨコハマ・グッズ『横濱001』育成支援事業 500万円
⇒ 地域ブランドの育成と横浜観光のPRを目的に、会員の多くが中小企業である一般社団法人YOKOHAMA GOODS 001のイベント等への出展や新たな販路開拓の取組等を支援します。（会員企業81社中、中小企業65社）
- ・ アーツコミッション事業（事務所等開設支援） 528万円
⇒ 関内・関外の既存民間建築物にアーティスト・クリエイターが移転する際に助成金を交付し、都心部の活性化、創造産業の振興を図ります。

3

マーケティング力 アップ

事業効果を高めるため基礎的情報を収集、分析し、総合的な戦略の策定や各施策に反映していきます。対外的な横浜のイメージやポジショニング調査等を継続して行い、戦略的・効果的プロモーションの展開を図り集客につなげるほか、MICE機能のさらなる強化のため基本構想の策定等を行います。

(1) シティプロモーション事業 5,713万円 【再掲】 p.17

文化芸術・観光分野を中心とした全庁的取組として、表現や方法に統一性と一貫性のあるプロモーションを展開します。調査分析に基づき、幅広く様々な媒体を戦略的・効果的に組み合わせ、特に首都圏での情報発信力の強化と、「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012」などと連携したプロモーションを進めていきます。

(2) 調査分析事業 新規 600万円 p.17

横浜市内で実施されるイベントや横浜を代表する文化、観光施設等について、広く認知度や訪問意欲等を調査し、今後の施策立案、プロモーション等の基礎資料として活用します。

(3) 観光動向に関する調査 684 万円

p. 22

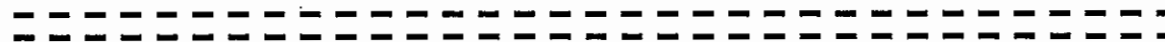
観光集客指標調査や観光動態・消費動向調査など横浜観光の基礎的データを集積するための調査を行います。

(4) MICE 機能強化等事業

2,390 万円 (前年度 1,330 万円)【再掲】

p. 23

中長期MICE戦略の検討や、みなとみらい 21 地区内でMICE施設拡充をする際の事業手法の検討など、MICE機能強化のための基本構想の策定を行います。



◆ **緊急雇用創出事業での取組**

7 事業 2 億 6,353 万円

現下の厳しい雇用失業情勢に伴う対策として、本市でも緊急雇用対策を進めています。その一環として、イベントのPRや運営スタッフ、警備スタッフ等、当局が実施する施策においても積極的に雇用の創出に取り組みます。

(1) 文化・観光ラジオ・FM事業【再掲】	1,796 万円	p. 5
(2) シティFMラジオツール開発事業【再掲】	1,553 万円	p. 5
(3) タウンフェスティバルPR・会場運営事業【再掲】	1 億 1,207 万円	p. 7
(4) スマートイルミネーション会場設営運営事業【再掲】	3,998 万円	p. 10
(5) オープンヨコハマ インフォメーションデスク事業【再掲】	3,251 万円	p. 11
(6) オープンヨコハマ 広報支援事業【再掲】	1,650 万円	p. 11
(7) 横浜創造都市スクール事業【再掲】	2,898 万円	p. 11

Ⅱ 平成24年度 文化観光局予算総括表

(単位：千円)

科 目	24年度 予算額	23年度 予算額	差 引 増△減	前年比 (%)	主 な 増 減 事 業
4款 文化観光費	9,029,399	8,116,832	912,567	11.2	
1項 文化観光費	9,029,399	8,116,832	912,567	11.2	
1目 文化観光総務費	1,157,736	975,577	182,159	18.7	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーション事業【新規】 57,132千円増 ・魅力創発事業【新規】 40,650千円増 ・調査分析事業【新規】 6,000千円増
2目 創造都市推進費	762,307	1,247,286	△ 484,979	△ 38.9	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーミングアーツ連携事業 【新規】 17,000千円増 ・スマートイルミネーション事業 【新規】 12,000千円増 ・横浜トリエンナーレ事業【終了】 △ 429,120千円
3目 文化振興費	6,036,527	3,675,017	2,361,510	64.3	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜芸術アクション事業【拡充】 372,072千円増 ・文化施設整備事業 1,753,329千円増
4目 観光・コンベンション振興費	1,072,829	2,218,952	△ 1,146,123	△ 51.7	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ開発会議横浜開催推進事業 【新規】 90,000千円増 ・中国・韓国市場向け重点プロモーション事業【拡充】 16,633千円増 ・国際交流ゾーン用地取得【終了】 △ 1,228,836千円

Ⅲ 予算科目別内訳

1 項 1 目	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
				国・県	市 債	その他	一般財源
1 文 化 観 光 総 務 費	千円 1,157,736	千円 975,577	千円 182,159	千円 33,482	千円 -	千円 -	千円 1,124,254

横浜魅力づくり室

- (1) シティプロモーション事業 【新規】 57,132千円 (前年度-)
 情報発信力の強化、プロモーションの統一化、全庁的な情報共有を行い、横浜の認知度を高めるとともに、横浜ブランドの確立を図ります。
- (2) 魅力創発事業 【新規】 40,650千円 (前年度-)
 地域の特性を活かした、区局連携による「旧東海道の魅力づくり」など、戦略的・先導的な魅力づくりを行います。
- (3) 調査分析事業 【新規】 6,000千円 (前年度-)
 今後の政策立案やプロモーションを戦略的・効果的に実施していくための現状把握や、プロモーション効果を検証するための、継続的な調査などを行います。

総務部

- (4) 総務費 14,373千円 (前年度-)
 文化観光局職員の人材育成事業などを実施します。
- (5) 人件費 1,039,581千円 (前年度 956,427千円)
 文化観光局職員の人件費を計上します。
- 【終了事業】
 (魅力づくり推進事業) (前年度 16,000千円)
 (横浜シティプロモーション広告事業) (前年度 3,150千円)

1項2目	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
				国・県	市債	その他	一般財源
2 創造都市費	千円 762,307	千円 1,247,286	千円 △484,979	千円 132,258	千円 -	千円 15,257	千円 614,792

創造都市推進部

- (1) ナショナルアートパーク構想推進事業 **62,433千円** (前年度 75,700千円)
 ア 「象の鼻テラス」を文化観光交流拠点として運営し、質の高いアート展示、パフォーマンス、文化イベントなどに活用
 イ 山下ふ頭など都心臨海部の公共施設においてアートによる実験的活用の取組を実施
 ウ クリエイティブシティ横浜推進のために有識者懇談会を運営
- (2) 創造界限形成事業 **194,643千円** (前年度 228,769千円)
 歴史的建造物や倉庫等の都心部の地域資源を有効活用した創造界限拠点施設として、ヨコハマ創造都市センター、BankART Studio NYK、急な坂スタジオ、新港ピアの運営・管理を行ないます。
- (3) アーツコミッション事業 **71,245千円** (前年度 87,965千円)
 アーティスト・クリエイター、NPO、市民、企業、学校などの創造の担い手が活動しやすい環境づくりのため、ワンストップ相談窓口を置き、活動に関する相談・支援・情報提供やマッチング、助成などを総合的に行ないます。
- (4) 地域再生まちづくり事業 **107,165千円** (前年度 113,722千円)
 初黄・日ノ出町地区において、地元・警察・行政等が一体となって、文化芸術の力を活かした都市の再生を進めます。
 ア 京浜急行高架下の黄金スタジオ・日ノ出スタジオ等の6スタジオや地区内の空き店舗等をアーティスト・クリエイターの創造活動の場に活用
 イ 黄金町バザールを実施し、地区全体のまちづくりを促進
- (5) 映像文化都市づくり推進事業 **28,040千円** (前年度 33,740千円)
 ア 都心臨海部で行なわれる特色ある映画祭の開催を支援
 イ 東京藝術大学大学院映像研究科が校舎として使用する映像文化施設の維持管理
- (6) 横浜トリエンナーレ事業 **70,900千円** (前年度 500,020千円)
 我が国を代表する国際的な現代美術展「横浜トリエンナーレ」の第5回展(2014年開催)の開催準備を行います。
- (7) 創造都市交流事業 **4,200千円** (前年度 8,700千円)
 海外都市の芸術拠点と交流を行い、美術分野、舞台芸術分野のアーティスト・クリエイターの相互受け入れを実施し、滞在型の制作支援を行います。

- (8) 創造都市地域連携事業 45,660千円 (前年度 63,000千円)
 ア 横浜ならではの魅力資源を発掘、発信する「OPEN YOKOHAMA 2012」の実施
 イ 「街全体をステージに」をコンセプトに実施する横濱JAZZ PROMENADEの開催支援
- (9) オープンヨコハマ インフォメーションデスク事業 32,513千円 (前年度 28,982千円)
 「OPEN YOKOHAMA 2012」キャンペーンエリア内の主要な駅等にインフォメーションデスクを設置し、情報提供を行います。 【緊急雇用創出事業】
- (10) オープンヨコハマ 広報支援事業 【新規】 16,500千円 (前年度ー)
 ウェブサイトへの情報掲載、ブログ、twitter等による広報発信・PRなど、来訪者への情報提供の充実を図ります。 【緊急雇用創出事業】
- (11) パフォーミングアーツ連携事業 29,000千円 (前年度 12,000千円)
 ア ダンスパフォーマンス等によるまちの賑わいづくりにつながる活動の支援
 イ 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM i Y) の開催支援
- (12) スマートイルミネーション事業 【新規】 12,000千円 (前年度ー)
 冬のイルミネーションシーズンにあわせ、公共空間を中心とした都心臨海部の夜景を省電力技術とアートの力で演出し、環境に配慮しながら、都市としての魅力アップを図ります。
- (13) スマートイルミネーション会場設営運営事業【新規】 39,979千円 (前年度ー)
 アートプログラム設営のための現場調整、機材等設営スタッフ、広報物配布、ホームページ更新、イベント警備等の業務を行います。 【緊急雇用創出事業】
- (14) 横浜ランデヴープロジェクト事業 14,286千円 (前年度 27,050千円)
 アーティストと障害者施設、中小製造業等との協働により創造性が高いブランド商品の開発・販路拡大を図ります。 【ふるさと雇用再生特別基金事業】
- (15) 横浜創造都市スクール事業 【新規】 28,980千円 (前年度ー)
 ヨコハマ創造都市センター(旧第一銀行)を拠点として、アートによるまちづくり等をテーマにしたカリキュラムや調査研究などを行います。 【緊急雇用創出事業】
- (16) 創造都市推進事業費 4,763千円 (前年度 6,473千円)
 創造都市の実現に向けた国内外に対する広報費や事務経費等

【終了事業】

- (横浜トリエンナーレPRキャラバン隊事業) 【緊急雇用創出事業】 (前年度 33,101千円)
 (オープンヨコハマ会場間輸送事業) 【緊急雇用創出事業】 (前年度 28,064千円)

1項3目	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
				国・県	市債	その他	一般財源
3 文化振興費	千円 6,036,527	千円 3,675,017	千円 2,361,510	千円 723,737	千円 913,000	千円 342,185	千円 4,057,605

文化振興部

(1) 横浜芸術アクション事業 392,072千円 (前年度 20,000千円)

文化芸術による賑わいの定着、経済の活性化を図るために、現代美術の国際展「トリエンナーレ」に引き続き、「横浜芸術アクション事業」として平成24年度は「ダンス」、平成25年度は「音楽」のフェスティバルを実施します。

また、平成25年度の音楽フェスティバルの開催に向けて、オーケストラシリーズ等のプロ事業を実施します。

(2) クラシック・ヨコハマ推進事業 11,000千円 (前年度 11,000千円)

ア クラシック・ヨコハマ

国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、地域のサロンや博物館、病院等、様々な場所でのコンサートによる音楽祭を開催します。

イ 国際音楽セミナー

若手演奏家を発掘、育成するため、世界的演奏家による国際音楽セミナーを開催し、成果を発表するコンサート等を行います。

(3) 芸術文化教育プログラム推進事業 17,500千円 (前年度 17,500千円)

次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力等を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを、NPO、文化施設等とのネットワークにより実施します。

(4) 文化芸術による地域づくり事業 10,000千円 (前年度 5,100千円)

市民やNPO団体等が主体となっている、市内各地域の地域資源を活用した文化芸術活動を公募し、支援します。

(5) 芸術文化支援事業 49,933千円 (前年度 37,450千円)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団への支援等、音楽・美術等の芸術文化活動に対する様々な支援を行います。

(6) 文化施設運営事業 **2,506,628千円** (前年度 2,308,911千円)

横浜美術館、横浜みなとみらいホール等の文化施設の運営等を行います。

ア	横浜美術館運営費	637,500千円
イ	横浜みなとみらいホール運営費	437,010千円
ウ	横浜能楽堂運営費	170,000千円
エ	横浜にぎわい座運営費	194,501千円
オ	関内ホール等文化施設運営費 (11施設)	660,898千円
カ	市民利用施設予約システム運営費等	406,719千円

(7) 文化施設整備事業 **2,761,972千円** (前年度 1,008,643千円)

市民の主体的、創造的な文化活動の身近な拠点となる文化施設を各区の文化特性等に応じて整備します。

ア	鶴見区民文化センター (保留床土地費相当額)	1,003,332千円
イ	緑区民文化センター (保留床取得費等)	1,044,014千円
ウ	戸塚区民文化センター (保留床取得費等)	714,626千円

(8) その他の文化振興事業 **48,825千円** (前年度 54,392千円)

横浜文化賞の贈呈、美術資料収集、文化施設の長期維持管理、次期指定管理者の選定等を行います。

(9) 市民ギャラリー移転事業【新規】 **25,000千円** (前年度ー)

【公共建築物等耐震対策事業】

耐震強度の低い教育文化センターの解体に伴い、同センター内の市民ギャラリーを移転します。平成24年度は旧いせやま会館 (職員福利厚生施設) への移転に向けて、基本設計及び実施設計を行います。

(10) 芸術文化振興財団補助金 **213,597千円** (前年度 212,021千円)

公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団の運営及び事業への補助を行います。

1項4目	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
				国・県	市債	その他	一般財源
4 観光・コンベンション振興費	千円 1,072,829	千円 2,218,952	千円 △1,146,123	千円 -	千円 -	千円 866,473	千円 206,356

観光・コンベンション振興部

1 観光資源の魅力アップと活用 423,581千円 (前年度 398,961千円)

民間事業者との連携により、旅行会社向けセールスをはじめとした国内誘客や、観光資源開発・ニューツーリズム振興に取り組みます。

また、観光案内所の運営や国内外からの観光客の受入環境の充実に取り組むとともに、三溪園の施設整備支援などを行います。

(1) 国内誘客事業 56,229千円 (前年度 62,098千円)

- ア 国内向けセールスプロモーション
- イ 修学旅行誘致強化
- ウ インターネットによる情報発信【拡充】

(2) 横浜観光プロモーション認定事業【拡充】 27,000千円 (前年度 21,000千円)

横浜の集客力・ブランド力向上につながる民間事業の認定・支援を行います。

(3) 観光資源魅力アップ事業【拡充】 13,000千円 (前年度 6,000千円)

- ア 観光資源開発とニューツーリズム振興
- イ 横浜が舞台の映像作品を活かしたフィルムツーリズムの推進

(4) フィルムコミッション事業 16,000千円 (前年度 16,000千円)

横浜への観光客誘致やシティセールスに効果のある映像作品のロケ支援を行います。

(5) 横浜おもてなし事業 144,655千円 (前年度 100,229千円)

- ア 観光案内所の運営などの来訪者支援
- イ 国内外からの観光客の受入環境充実・向上【拡充】

(6) 地域ブランド育成と施設整備支援等 166,697千円 (前年度 193,634千円)

- ア ヨコハマ・グッズ「横濱001」育成支援
- イ 三溪園施設整備支援事業
- ウ 所管観光施設の管理及び運営の支援
- エ 観光動向に関する調査 等

2 海外集客プロモーション	115,133千円	(前年度 97,886千円)
経済成長著しいアジア6地域を対象に海外からの集客に取り組みます。また、現地の消費者・旅行会社向けプロモーションや、メディアを活用した情報発信などを実施します。		
(1) 海外集客プロモーション事業	59,500千円	(前年度 58,886千円)
ア 企業や他の自治体との広域連携によりアジア6地域を対象とした、消費者・旅行会社向けのプロモーション		
イ 現地での訪問セールス、旅行会社へのツアー造成支援、インターネットによる情報発信など		
(2) 中国・韓国市場向け重点プロモーション事業	55,633千円	(前年度 39,000千円)
ア 中国での観光セミナーの開催及び中国の有名俳優の「横浜友好観光大使」の起用による情報発信等		
イ 韓国の著名人を「横浜友好観光大使」に任命する等、現地メディアによる横浜の情報発信を強化【拡充】		
3 MICE誘致・開催支援	534,115千円	(前年度 427,569千円)
中・大型国際コンベンションを軸としたMICE全般の誘致・開催支援や、MICE機能強化事業に取り組みます。また、「横浜ならでは」の集客イベントへの開催支援に継続して取り組みます。		
(1) コンベンション誘致・開催支援事業	120,876千円	(前年度 106,152千円)
ア コンベンション誘致【拡充】		
イ 大型国際コンベンション誘致助成金【新規】		
ウ コンベンション開催支援		
エ アフターコンベンションの促進等		
(2) MICE機能強化等事業	23,901千円	(前年度 13,301千円)
ア MICE機能強化に向けた手法の調査・検討【新規】		
イ 横浜MICEオープンカレッジ		
(3) 集客イベント支援事業【拡充】	52,200千円	(前年度 46,800千円)
既存大規模集客イベントの支援を実施します。		
(4) 大型国際コンベンション誘致事業	7,795千円	(前年度 20,000千円)
政府系を中心とした大型国際コンベンションの誘致を行います。		
(5) アフリカ開発会議横浜開催推進事業【新規】	90,000千円	(前年度ー)
第5回アフリカ開発会議の横浜開催に向けた広報、会議開催支援等を行います。		
(6) 減債基金積立金	239,343千円	(前年度 241,316千円)
【終了事業】		
(パシフィコ横浜 国際交流ゾーン用地取得事業)		(前年度 1,228,836千円)
(三溪記念館支援事業)		(前年度 32,000千円)
(ヨコハマグッズ販路強化事業)【ふるさと雇用再生特別基金事業】		(前年度 19,850千円)
(その他終了事業)		(前年度 13,850千円)

**DANCE
DANCE
DANCE**

city **YOKOHAMA 2012**

基本目標

発信しよう 横浜の魅力！

～もっと「横浜の魅力」を知ってもらおう～

目標達成に向けた施策

1 中期4か年計画を着実に推進します

本市の成長戦略である「観光・創造都市戦略」を担い、文化芸術・観光 MICE 分野のさらなる充実を図る使命のもと、厳しい財政状況の中にあっても、選択と集中を徹底し、基本目標に掲げる”発信しよう 横浜の魅力”を意識しながら、中期4か年計画に掲げた目標を達成していきます。

2 市民・事業者・行政が連携した賑わいのまち、千客万来のまちづくりをすすめます

市民・事業者・行政が連携した賑わいのまち、千客万来のまちづくりをすすめ、経済の活性化を図ることを事業展開における基本的な考え方とし、文化芸術・観光 MICE による都市としての魅力・機能向上を図ります。

24 年度は新たな横浜のシンボリック事業として、「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012」を実施し、質の高い文化・芸術を発信します。また来年6月の「第5回アフリカ開発会議」横浜開催に向け、会議が円滑に開催されるよう支援するとともに、ビジネスの分野も含め、横浜とアフリカとの交流・連携を深めます。

3 市域全体で魅力を発信・発掘していきます

局の理念でもある、「文化のかおる活力ある都市横浜、人が集い交流する賑わいのある都市横浜」の実現のため、市域全体「オール横浜」で施策に取り組み、地域の魅力や文化・観光資源を横浜の魅力として積極的に発信・発掘していきます。

目標達成に向けた組織運営

文化観光局は3つのアップ！！

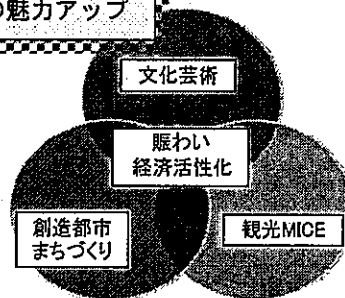
- ◆プロモーションカ アップ
- ◆横浜の魅力 アップ
- ◆マーケティングカ アップ



3つのアップを連動させ、横浜の魅力を発信し、「ヒト・モノ・情報」など新たな資源を呼び込み「千客万来のまち」、「経済の活性化」につなげていきます。

プロモーションカ アップ

横浜の魅力アップ



マーケティングカ アップ (調査・分析)

主な事業・取組

【主な事業・取組】

【内容】

1 プロモーション力アップ

- シティプロモーション事業
・文化芸術、観光分野を中心とした全庁的な取組によるプロモーションを展開するとともに、特に首都圏での情報発信力の強化と、重点イベントなどと連動したプロモーションを推進
- 魅力創発事業
・都心部や郊外部の魅力資源について、区局、市民団体、企業等との協働により、横浜の魅力さをさらに高める取組を推進

2 横浜の魅力アップ

- 横浜芸術アクション事業
・「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012」を実施し、「世界水準・オリジナルな文化芸術の発信」、「横浜らしい景観を活かした賑わいづくり」、「市民協働と子どもをはじめとした次世代育成」に向けた取組を推進
- 芸術文化教育プログラム推進事業
・次世代を担う子どもたちの表現力やコミュニケーション力等を育むため、学校においてアーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを実施
- 文化芸術による地域づくり事業
・市民やNPO団体等が主体となっていく、市内各地の地域資源を活用した文化芸術活動を公募し、支援
- スマートイルミネーション事業
・公共空間を中心とした都心臨海部の夜景を省電力技術とアート力で演出し、都市としての魅力アップを図る。また、既存のライトアップイベント等と協働し、まちの賑わいを創出するとともに、地球温暖化対策の啓発を実施
- 地域再生まちづくり事業
・違法な小規模飲食店が多数立地していた初黄・日ノ出町地区において、引き続き、地元・警察・行政等が一体となった、文化芸術の力を生かした都市の再生を推進
- 創造都市地域連携事業
・横浜独自の歴史・景観・食・文化芸術などの多彩な魅力資源をつなぐキャンペーン「OPEN YOKOHAMA 2012」の開催や「横浜 JAZZ PROMENADE」の開催支援など、市民活動の盛り上げや、横浜の新たな魅力創造・発信、賑わい創出を推進

○海外集客プロモーション事業

・アジア地域（中国、韓国など）を対象に、現地でのPR活動を実施するとともに企業や他の自治体との連携により、海外での横浜の知名度を向上させ、横浜への誘客を促進

○MICE機能強化等事業

・中長期MICE戦略の検討及び、みなとみらい21地区内でMICE施設拡充をする際の事業手法の検討

○アフリカ開発会議横浜開催推進事業

・第5回アフリカ開発会議の横浜開催に向けた、会議の円滑な開催支援や、市民のアフリカとの交流や理解促進、新たなビジネス機会の提供などを実施

3 マーケティング力アップ

- 調査分析事業
・横浜市内で実施されるイベントや横浜を代表する文化、観光施設等について、広く認知度や訪問意欲等を調査し、今後の施策立案、プロモーション等の基礎資料として活用

※その他の事業、取組については、文化観光局事業概要をご覧ください

(ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/bunka/outline/about/>)